

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

11月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 1,210件（前月比3.1, 前年比5.6）でした。前月比と前年比は、ともに上昇しています。今シーズンは例年よりも、早い時期で発生数が増加しています。今後はさらに増加するものと推測され、今後の発生動向に特に注意が必要です。定点当たり届出数が10未満なのは阿蘇(2.0)、有明(3.6)、八代(6.4)、御船(6.8)でした。菊池(55.3)、水俣(38.0)が特に高くなっています。

### 小児科定点

（全体傾向）

5,111件（前月比1.2、前年比1.3）でした。感染性胃腸炎2,132件（前月比1.4、前年比0.9）、インフルエンザ1,210件（前月比3.1、前年比5.6）が、大きく占めています。前年比の上昇は、インフルエンザ発生数増加の影響を受けています。伝染性紅斑333件（前月比1.3、前年比30.3）であり、例年より著しく高い値で推移しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 41件（前月比0.1、前年比0.3）であり、前月比、前年比ともに著しく低下しています。発生数は9月をピークとして、以後は連続して減少しています。3年連続で9月がピークとなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 133件（前月比1.1、前年比1.1）であり、前月比、前年比とも大きな変化はありません。菊池(7.4)、水俣(5.0)が高くなっています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 428件（前月比1.0、前年比0.8）であり、前年比が低下しています。菊池(28.0)、宇城(12.3)、天草(10.8)が高くなっています。
4. 感染性胃腸炎 : 2,132件（前月比1.4、前年比0.9）であり、前月比が上昇しています。発生数は10月から連続して増加しており、11月は本年度で最高値となっています。今後の発生動向に注意が必要です。菊池(100.4)、山鹿(81.0)、有明(76.8)、御船(63.3)が特に高くなっています。
5. 水痘 : 46件（前月比1.1、前年比0.8）であり、前年比が低下しています。7月からは大きな変化がなく推移しています。
6. 手足口病 : 386件（前月比0.9、前年比2.2）でした。本年度は6月がピークであり、以後は減少し、8月以降は大きな変化がなく推移しています。前年比は2.2であり、前年より高い値で推移しています。有明(24.2)、御船(20.4)が高くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 333件（前月比1.3、前年比30.3）でした。前年比は30.3と著しく高値となっています。本年度は、1月から例年より高い値で推移しています。9月からは連続して増加し、11月が最高値となっています。今後の発生動向に注意が必要です。有明(16.8)、菊池(12.0)が特に高くなっています。
8. 突発性発疹 : 136件（前月比1.0、前年比0.8）であり、前年比が低下しています。
9. ヘルパンギーナ : 81件（前月比0.4、前年比0.9）でした。例年なみに7月をピークとして連続して減少しています。
10. 流行性耳下腺炎 : 11件（前月比0.2、前年比0.3）であり、前月比、前年比とも低下しています。6月から10月までは昨年より高い値で推移していましたが、11月の前年比は著しく低下しています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 51 件(前月比 0.5、前年同月比 0.5)と減少しています。熊本 44 件、菊池 2 件、有明 4 件、天草 1 件の報告です。年齢別では 30～59 歳にピークがありますが、乳幼児層での拡大傾向はありません。

## STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数41件（前月比0.5、前年同月比0.7）で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、男性に28件と多く見られました。年齢別では、男性は20～29歳に17件と多く、女性も20～29歳に10件と多く見られています。地区別は、熊本が31件と圧倒的に多く、次いで菊池4件、有明、宇城に各2件、八代、人吉に各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数25件(前月比1.1、前年同月比1.3)で、前月比、前年同月比とも増加しています。男女別は、女性に13件とやや多く見られました。年齢別では、男性は15～70歳以上、女性も15～70歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が14件と多く、次いで菊池6件、宇城2件、御船、八代、有明に各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は9件(前月比1.5、前年同月比0.8)で、前月比では増加、前年同月比は減少しています。男女別では、全て男性でした。年齢別では、男性の25～54歳と幅広く見られています。地区別は、全て熊本でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は13件(前月比0.6、前年同月比0.9)で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別では、全て男性でした。年齢別では、男性で20～64歳と幅広く見られています。地区別は、熊本9件と圧倒的に多く、次いで八代2件、有明、宇城に各1件でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数19件（前月比 1.1、前年同月比 1.0）でした。11件（58%）が70歳以上でした。乳幼児では0歳が1件です。人吉（5件、定点あたり5.0）、阿蘇（3件、定点あたり3.0）が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数6件（前月比 1.5、前年同月比 0.7）でした。熊本が5件と多くなっています。70歳以上が3件、60歳台が2件、小児は0件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数1件（前月比 +1、前年同月比 +1）でした。人吉からの報告です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比0.5、前年同月比0.2）でした。熊本からの報告です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数7件（前月比 1.2、前年同月比 7.0）でした。やや増加傾向です。1-4歳1件、5-9歳3件、10-14歳3件と小児に多く、熊本が5件と多く見られます。
4. クラミジア肺炎： 報告数1件（前月比 +1、前年同月比 +1）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

### 届け出対象感染症

1類感染症	：報告はありませんでした。	
2類感染症	：結核	18件
3類感染症	：報告はありませんでした。	
4類感染症	：A型肝炎	2件
	つづが虫病	6件
	日本紅斑熱	1件
	レジオネラ症	3件
5類感染症	：アメーバ赤痢	2件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
	後天性免疫不全症候群	1件
	ジアルジア症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
	梅毒	9件
	百日咳	25件